

平成 28 年度 政務活動費のあらまし

民進党・無所属クラブ
幹事長 大倉たかひろ

○はじめに

平成 28 年度は昨年に引き続き 6 名の議員で会派を構成し「民進党・無所属クラブ」として活動をしてまいりました。会派として区内団体等との意見交換会の機会を設けて区長へ政策要望提出しました。

視察では区立品川児童学園跡に整備予定の障害者総合福祉施設で、運営団体の統括をおこなう指定管理者、社会福祉法人グローの諸施設や、品川水族館の運営、観光資源として既存施設の活用、その近隣施設との連携等の視点から、大阪市のニフレルへ訪問し、ヒアリングを行いました。また、各議員がそれぞれの問題意識に沿って調査研究を行い、次年度に向け政策提言に活かしました。

○調査研究・研修活動等

社会福祉法人グローでは、全国で初めて 24 時間対応型の障害者向け在宅サービスをスタートした経緯や運用上の工夫や、職員の配置や役割分担等について伺いました。また、区立新施設についての理念を共有するとともに、区内のニーズとの今後の整備にあたって多岐にわたって情報交換をし、特に職員体制や相談事業については品川区の実情とどうすり合わせていくか、重要な視点を得ました。

ニフレルでは大型生物や希少生物による話題性ではなく、生き物の美しさや特徴的な動きなどアーティスティックな見せ方に独自の工夫をし、運営においては時間や曜日によりターゲットを明確にする工夫がされていました。区立しながわ水族館とは、公園内に位置する小規模水族館で近隣に複数の水族館が立地するなど条件に共通性があり、入場者数向上を目指すしながわ水族館を、区民公園という周辺立地を生かしてどう特徴づけ集客につなげるか、提案のヒントを数多くいただきました。

このほか、「子育て」「福祉」「教育」「防災」「シティプロモーション」「観光」「東京オリンピック・パラリンピック」等、各議員が問題意識に応じた活動や意見交換を精力的に行いました。

○区民・地域団体から意見聴取

区内各種団体との意見交換の場を設け政策要望の聴取のほか、町会・自治会・商店街、任意団体、スポーツ団体、民謡団体等の幅広い団体が主催するイベント等に積極的に参加し、それぞれ団体の抱える課題、問題意識等の聴取に努めました。これらをもとに会派で取り纏めを行い、平成 29 年度に向けた予算要望書を区長に提出するとともに、各議員の質問等に活かしました。

○おわりに

会派メンバーがそれぞれ問題意識を持ち、また得意分野を生かして、区内の幅広い団体や区民の意見聴取を積極的に行うとともに、各施策で成果を上げている先進行政の視察、研修、講習会等に参加し、施策の実現を目指し活動してまいります。